

# 令和3年度 第1回八雲町総合開発委員会議事録（要旨）

## 【開催日時・場所】

令和3年9月30日（木）午後1時30分～午後2時50分

八雲町役場議員控室

## 【出席者】

委員：大野 尚司、井口 啓吉、近藤 安幸、刀禰 清貴、舟田 進一、小笠原 英毅、鎌田 和弘、  
木村 滋、能代 常男、阿部 政邦、浅沼 真、上田 倫央、椎谷 玲香、佐藤 馨、西田  
香予子（15名）

町：岩村町長、吉田副町長、萬谷副町長、土井教育長、竹内総務課長、川崎財務課長、野口  
地域振興課長、成田総合病院事務長、川口政策推進課長、上野政策推進課長補佐、多  
田企画係長（11名）

傍聴者：なし

## 【要旨】

- 第2期八雲町総合計画の評価（令和2年度実施分）について説明し、質疑を受けた。
- 第2期八雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について説明し、質疑を受けた。

## 【内容】

1. 開会
2. 委嘱状交付 浅沼 真 委員に委嘱状を交付した。
3. 町長挨拶
4. 会長挨拶
5. 報告事項

### （1）第2期八雲町総合計画の評価（令和2年度実施分）について

（多田企画係長の説明後、質疑応答）

【阿部委員】資料12ページの高齢者スポーツ施設利用助成事業について、11,000円で高齢者がパークゴルフ場、プール、スキー場を使えるという内容のものだが、助成人数は資料のとおりパークゴルフが176人、プールが13人、スキーが1人、合計190人となっている。パークゴルフは通常12,560円ということで、年間1,560円の助成でしかない。プールは通常26,400円で年間15,400円の割引。スキーは通常18,850円で7,850円の割引になる。つまり、利用頻度が高いパークゴルフは12%割引、プールは58%割引、スキーは41%割引。要は11,000円で3つの施設を使えると縛っている関係で、こうした歪みが出てきている。制度そのものは素晴らしいと思うし恩恵に浴している人も多くいるが、そろそろ中身についても検討願いたい。もっと町民が割引感を感じて尚且つ競技場に足

を運ぶというような方策を検討すべきでないかということが1点。もう1点は、14ページの体育館のトレーニング室についてで、総合体育館が昭和53年10月に設立して43年経過した。40年前は体を鍛えるというとバーベルを持ち上げたり腹筋をしたりという筋トレが主流だったが、今はウォーキングやランニングなどの有酸素運動が主流に変わってきている。しかし、体育館のトレーニング室には有酸素運動ができるトレッドミルなどのトレーニング機器が無いので、是非そうした機器の導入を検討いただきたい。

**【岩村町長】** 高齢者スポーツ施設利用助成事業について、割安感が無いということで検討が必要だと感じた。さらにコロナ禍ということで家に籠っているのが、コロナが終息した時には多くの方が外に出てスポーツをやるということが必要だと思っており、次年度に向けて検討していきたい。さらに体育館のことは、さきほど言われた機械が古いということで今検討を始めたところなので、体育館の方にも意見をいただきながら、来年度、再来年度に向けて整備を進めていきたい。

**【佐藤委員】** 15ページの地域おこし協力隊について、資料には5人を配置と記載されているが、どのような活動をしているかお聞きしたい。協力隊の制度、財政措置、町の持ち出し、協力隊が活動しやすい環境をつくるために町の担当者がどのように関わっているのか、お聞かせ願いたい。

**【多田企画係長】** 15ページの上段に5名配置と記載しているが、これは令和2年度の実績で、今時点では14人が活動している。商工観光労政課に4人配置し、物産振興、広域観光推進、廃校利活用に取り組んでいる。また、産業課で北大と水産資源の研究をしている方が1人、住民サービス課で町内会等に地域生活支援事業を仕掛ける方が1人、研修牧場で活動している方が3人、町内のネギ農家さんに研修に行って新規就農を目指している方が4人、資料館で歴史的な資料を整理してそれを情報発信につなげていく方が1人いる。政策推進課が中心になって募集・採用を進めているが、今言ったような各課に協力隊員を配置して、地域おこし活動をしてもらいながら3年後の定住に向けて各課で1人1人の話を聞き、新規就農をする方にはこういう制度があるよとか、情報提供しながらバックアップしているところ。これは移住定住に向けた政策で、総務省も拡大していく方針となっているので、八雲町としても協力隊員を増やしていきたいと考えている。経費については、特別交付税措置の範囲内で賄っており、具体的な交付額は分からない制度になっているが、基本的にはその中で納まっていると考えている。

**【小笠原委員】** オリンピックに職員を派遣した結果は資料などで見られるようになっているか(15ページ、職員交流・派遣事業)。

**【竹内総務課長】** 東京オリンピックのマラソンが札幌で開催されるということで令和2年4月に職員を派遣したが、1年延期になった影響で令和2年5月に帰任している。令和3年にマラソンが行われたが、それについては道と札幌市が対応するというので派遣しなくなった。

**【小笠原委員】** 30ページのふるさと応援寄附金返礼品取扱店舗が減っているのは、丘の駅が詰

合せを取り扱わなかったということが書かれているが、民間に移行した結果こうなってしまったということか。

**【岩村町長】** 昨年度にイクラが高騰したので、その分が落ちたというのが私の見解で、木蓮で落ち込んだ分は本当に微妙な数字だと思っている。

**【小笠原委員】** 16ページで漁業の落ち込みが大きいと、どう考え、どういう対応をしているかをお聞きしたい。

**【岩村町長】** 聞くところによると今年からホタテがV字回復で、量も金額も少しずつ良くなってきていると聞いている。今日は漁協の専務さんもいるので直接お話をさせていただきたい。

**【鎌田委員（落部漁協専務）】** この表にあるとおり右肩下がりで、ホタテガイ養殖の生産が落ちたことが大きい。ホタテガイのへい死については試験研究機関が色々調査しているが、これといった原因が特定されていない。そうした中で漁業者自らが実践可能な養殖作業工程の見直しを行いながら漁業生産に努めているが、現時点では昨年、一昨年と比べてへい死率が低い状況で、一定程度の生産回復が見込める。ここ何日か報道されている道東方面の赤潮についても噴火湾でも発生しないか懸念をしている。丘の上の農業と比べて、漁業に関しては海の中のことであり分からない部分が多すぎると感じている。

## **(2) 第2期八雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について**

(多田企画係長の説明後、質疑応答)

**【小笠原委員】** 38ページの噴火湾パノラマパーク来園者数が37万人と記載されており、コロナでの落ち込みだと思うが、令和6年度の目標値72万人はどう考えているか。例えば、来年コロナは終息するという考えなのか、終息しない場合の目標値も設定必要かと思うがいかがか。

**【多田企画係長】** 担当者としてこの目標値、進捗状況を悩ましい思いで見ている。新型コロナは未曾有の災害のようなもので、目標を改めて設定し直すということもあり得るかと思うが、このまま終息するのか、あるいはなかなか収まらないで6波、7波と来るのか分からない状況で、現状としてはこの目標値のまま推移を見守っていきたいと考えている。

**【小笠原委員】** 恐らくコロナが終息しても海外の状況を考えると、パノラマパークの来園者数はインバウンドが多いと思うので、私は早い段階で2パターンを考えた方が良くと思う。

**【小笠原委員】** 32ページ、農業産出額が目標値に達しているのに、更なる高みを目指すことはしないか。産業を活性化し働く人をつくるということで、目標を達成しているのであれば働く人が増えるということになっているはずだが、働く人が増えていないのであれば、目標を再設定しなければならないと思う。

**【岩村町長】** 確かにその通りだと思う。交流人口については、パノラマパークばかりではなく、ペコレラ学舎にもかなり若い人が来ており、北里大学さんにも研修に来たいという要望があったがコロナで断っているということもある。さらには熊石で考えているウイスキー工場を建設

すると見学に来る人も相当いるだろうと思う。先ほどの農業生産額も、農協さんとも詰めながら目標値を変えていくということは必要だと思っている。農協北渡島運営委員長のお話も聞いてみたい。

**【舟田委員（新函館農協北渡島運営委員長）】** 農業産出額をもっと高みを目指したらどうかという意見だが、私が農業を営んでいる45年のなかで今は乳価が最高という状況にあり、これ以上乳価が上がっていくことは無いと感じている。今後は生産量を安定化させていくことが必要だと思う。

**【小笠原委員】** 「産業を活性化し働く人をつくる」という目標なので、私はお金ではなく、目標を達成しているなら働く人が増えるという実績が出るはずではないか？ということ。そうでなければ、この生産額では足りないということになるので、目標を引き上げる必要があるのではないかという意見。

**【舟田委員】** 小笠原委員に対する答えになっていないかもしれないが、農業人口は農家の高齢化によって減少しているが、農業生産法人が設立されているので生産量が維持されているというのが現状。研修牧場を造る際に先進地の浜中町や標茶町に視察に行ったが、浜中町の酪農家の3～4割くらいが研修牧場の卒業生だと聞いた。よく言われているのは、大型法人は生産を守れるけども地域を守るのは家族経営の農家だと。そういう意味では生産販売額も大事だが、農家戸数、農業人口を支えるということも大事だと思う。研修牧場を造っても研修に来る人がいるのかと言われるが、八雲は新幹線が開通するなどの地の利が良い。道東の農家と話をすると、産婦人科まで2～3時間走らなければならないという大変さがあると聞いた。八雲町には総合病院もあり、新規就農を目指す人を呼び込むには、子育て環境も重要だと思う。

## 6. その他

特になし

## 7. 閉会

※会議終了後、大関牧場およびペコレラ学舎の視察を行った。